田園回帰の時代

~持続可能な地域社会を支える診断、設計、運営の手法

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩

- 1. 田園回帰の時代
- 2. 地域人口&就農シミュレーション紹介

- 3. 地元関係図で地域社会の生態系を診断、設計
- 4. 所得の1%を取り戻す
- 5. 循環型社会に30年で進化



最近の著作 「田園回帰1%戦略」 ~地元に人と仕事を 取り戻す~ (農文協、2015年6月) 全国で1万部突破

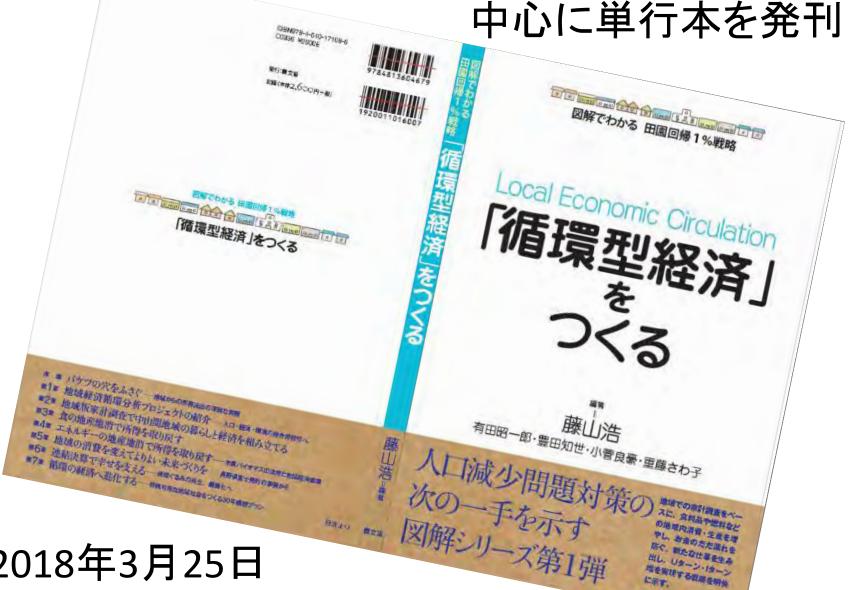
「移住1%戦略」として 2015年12月9日NHK番組 「クローズアップ現代」で紹介

「『消滅論』で意気消沈した自治体にぜひ、本書で次の一歩を」 (朝日新聞、2015年8月16日書 評諸富 徹氏評) 「過疎対策のバイブル的存在」 (読売新聞、2015年7月5日書評 濱田武士氏評)

「地域再生分野の書籍の決定版中の決定版」(毎日新聞、2015年 10月18日書評 藻谷浩介氏評)

地域経済循環研究を 中心に単行本を発刊!

量定值



2018年3月25日 発売~農文協~

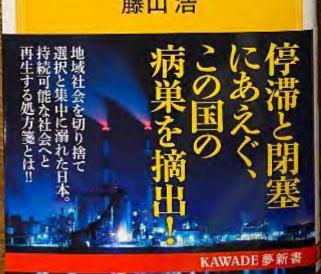


日本の「失敗の本質」を 年代ごとに総括。

聞書評

の 3 Ⅲ







2020年10月30日発売~河出書房新社~

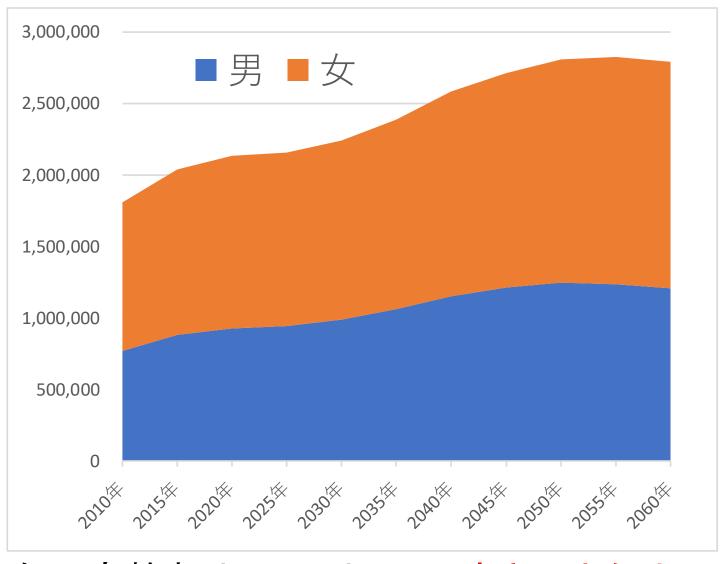


果てしなく広がる都市圏。毎日の長時間通勤。そびえ立つビル やタワーマンション。

そこで、日々暮らす人々の思いは、周りや次世代の人々に伝わっていくのだろうか?

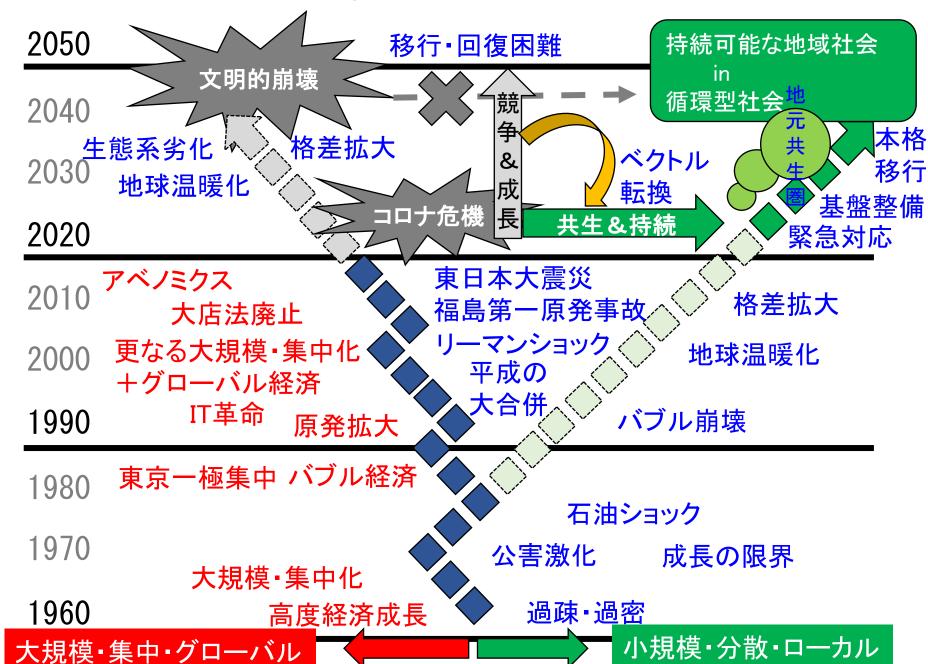


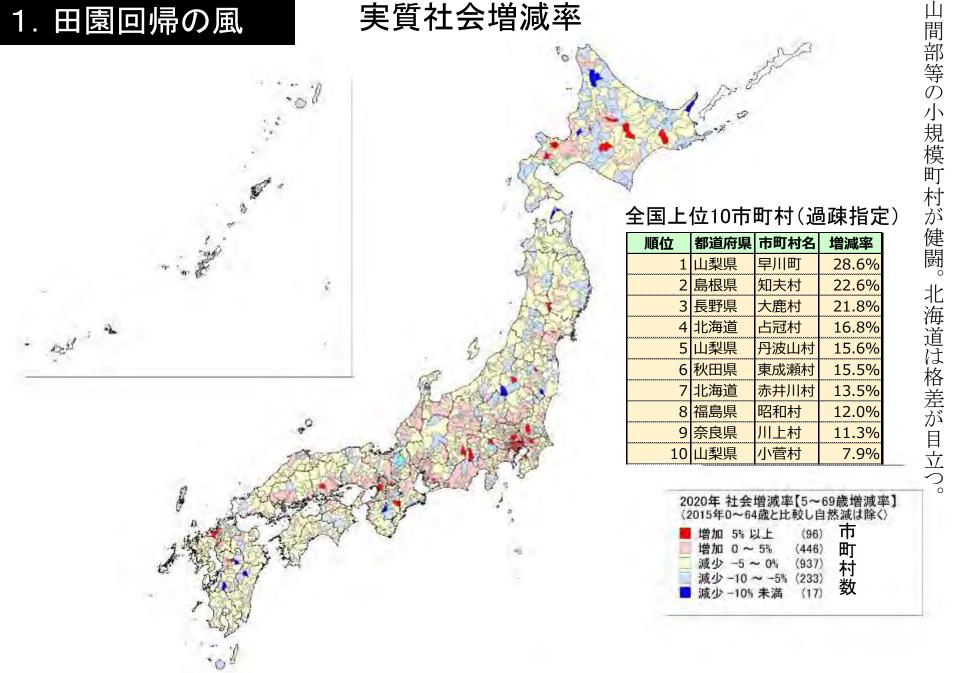
東京23区における高齢者数の予測



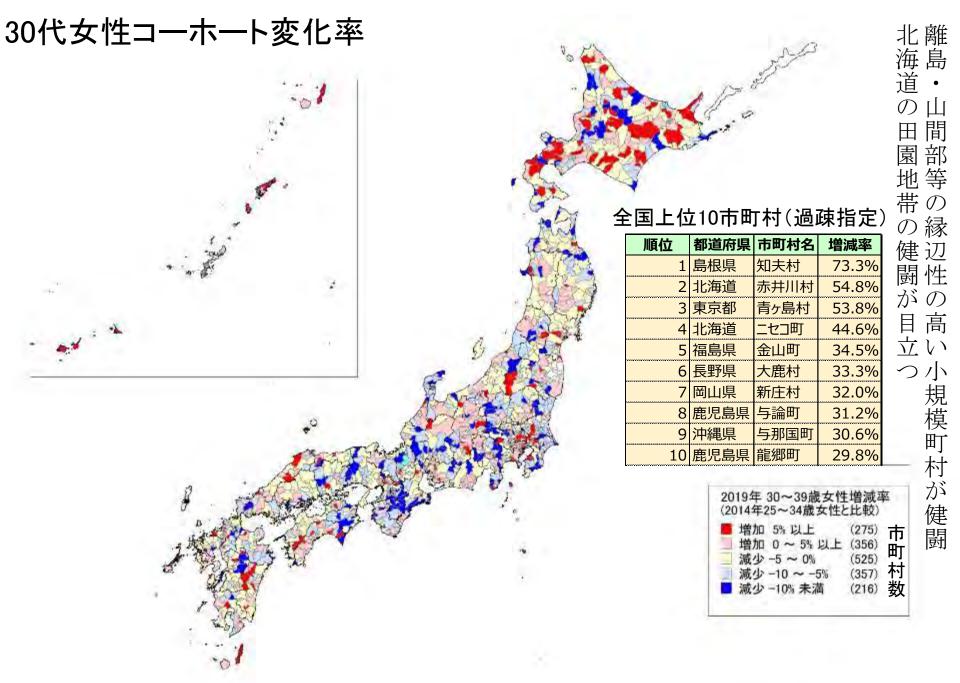
飛性がない地域社会は東京

2050年の高齢者は281万人=1平方キロ当たり、4,507人 100m四方に45人→介護や医療だけでなく、生活も限界 持続可能な地域社会in循環型社会へ~文明転換とコロナ危機を踏まえて





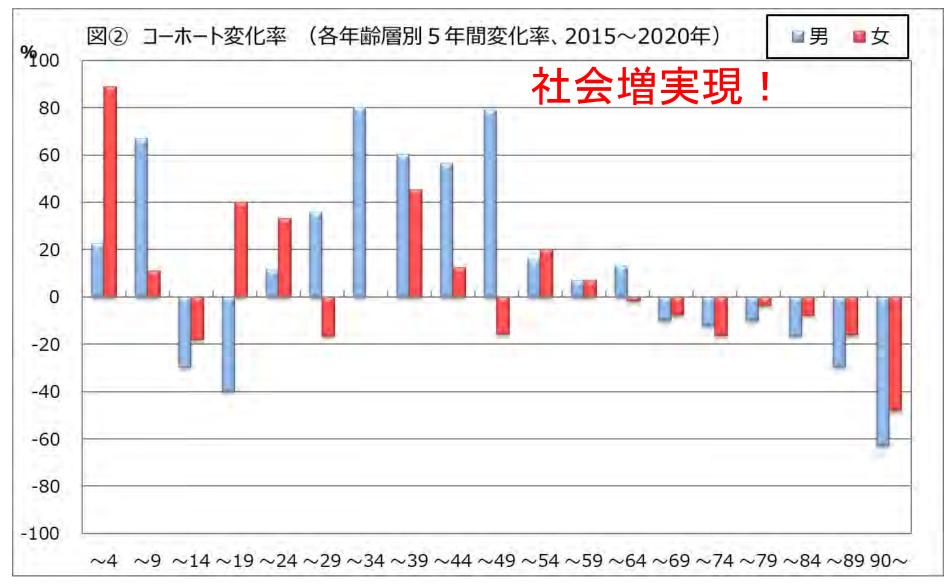
(2014年の5~69歳と2019年の0~64歳を比較、自然減分を補正)



(現在の30~39歳女性人口と5年前25~34歳女性人口と比較)

川上村•年齡階層別人口増減率(2015~2020年)

人口1,156人

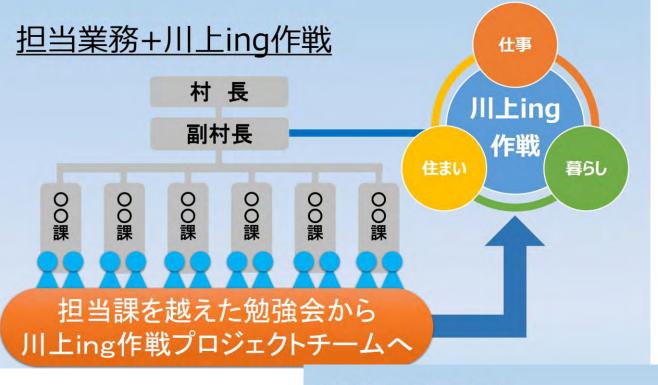


子育て世帯と壮年男性を中心に流入超過

川上村、5年前まで~多くの世代で大幅流出



2010年~2015年国勢調査の比較



奈良県庁「かわかみんぐ 川上ing作戦」紹介PDFより

役場若手職員で 分野横断チーム を結成

暮らし体験 仕事紹介 住まい紹介を 組み合わせた ツアーを実施

実際に動いた!

暮らし体験ツアーに 仕事 と 住まい の紹介をあわせた

かわかみんぐツアー

- ●空家の紹介
- ●いなか暮らしの体験
- 移住希望者と求人事業所とのマッチング

初の試みからまた課題がみえてきた



【申し込み·お問い合せ】 川上村役場水源地の村づくり課 0746-52-0111

分散した集落の暮らしを総合的にサポートする「小さな拠点」

=「かわかみらいふ」(一般社団法人)を設立 同社団HPより





見守り 声掛け 住民交流

移動スーパー

地元スーパーの「吉野ストア」と連携した移動スーパー、か わかみらいふ号で村内全集落を回り、生鮮食料品や果物、仏



見守り 声掛け 防災後方支援

かわかみSS

村唯一のガソリンスタンドを継承し、給油や灯油の配達の 他。防災・災害支援の後方支援を行います。



見守り 声掛け 住民交流

コープ宅配

市民生活協同組合「ならコープ」と連携して、ならコープの 商品を介わかみらいふ号で配達します。



見守り 声掛け 住民交流

ふれあいセンター

コミュニティカフェを運営して、地域住民の集いの場として 世代間交流も行います。

看護師同行



見守り 声掛け 健康相談

看護師·歯科衛生士同行

かわかみらいふ号に、看護師・歯科衛生士が同行して、健康 (健ロ)づくりや健康相談などの生活サポートを行います。



見守り 声掛け 健康相談

出張診療所・健康教室

ふれあいセンターでは、医師・歯科医師による出張診療を行 い、医療機関から遠い住民のサポートを行います。

コミュニティカフェ

出張診療所

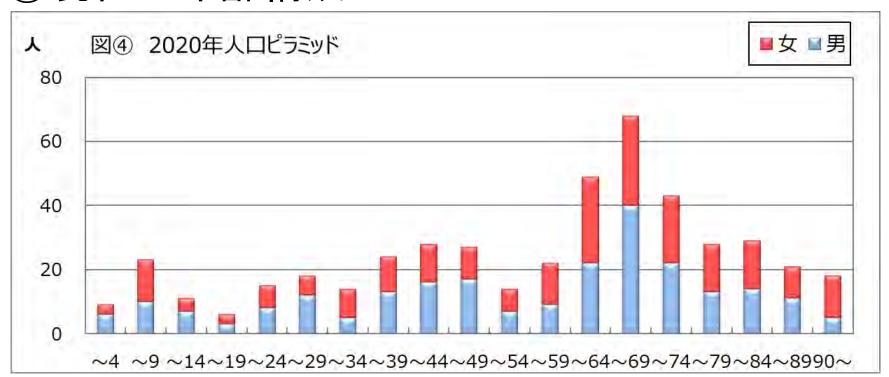
ガソリンスタンド&配達

2. 地域人口&就農シミュレーション~十日町市 六筒地区

地域人口(1)現状分析

①現在の年齢構成

* 2015年・2020年の 住民基本台帳に基づく



人口467人、高齢化率44.3%(75歳以上20.6%) 60代後半が主力世代 この10年で次世代定住と老後も安心な地域づくり

②一1 年齢階層別の人口増減(流出入)数



子連れ世帯の流入あり。ただし、20代流出を取り戻しは十分でなく、少子化急速。40代~60代の流出超過も課題。

②-2 年齢階層別の人口増減(流出入)率



子連れ世帯の流入あり。ただし、20代流出を取り戻しは十分でなく、少子化急速。40代~60代の流出超過も課題。

(2)将来予測 く現状推移 シナリオ>

このまま進むと 人口減少 高齢化に 歯止めが かからない!

子育て世帯の 流入で一時的 に増えるものの、 その後は長期 的に減少へ





(3)組み合わせ安定化シナリオ

達成目標:30年後(2045年時点において)、人口・子供数が現在の9割以上、高齢化率は現況よりも低下or40%以下

【出生率・流出率・定住増加】の3つを組み合わせた最適シナリオが検討してみる。

- ●出 生 率: 現在の1.09を1.80に改善
- ●流 出 率:10代後半~20代前半の流出率は 現在の男33→33%、女50→33%と改善。

合計

3組

7人

●定住増加組数:

毎年各年代1組=現在人口の1.5%(66人に1人)

20代前半男女1組(2名)1組30代子連れ夫婦1組(3名)1組60代定年帰郷夫婦1組(2名)1組

①今後の人口 ・高齢化率予測



②小·中学生 の人口予測

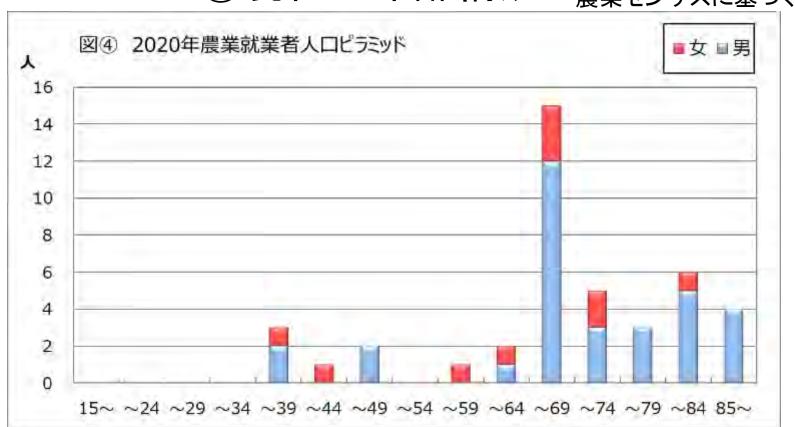






基幹的農業従事者分析事例~十日町市六筒地区

(1)現状分析①現在の年齢構成 *2015年・2020年の 農業センサスに基づく



人口42人、高齢化率78.6%(75歳以上31.0%) 60代後半が主力世代 *農業平均引退年齢76.7歳 この5~10年で次世代の担い手確保不可欠

②の1:年齢階層別の人口増減(流出入)数



30代、40代、60代において、新規就農あり。80代からは、農業からの大量引退が進行。

②の2:年齢階層別の人口増減(流出入)率

*特別に、「5年前0人→現在1人」は100%増として計算。



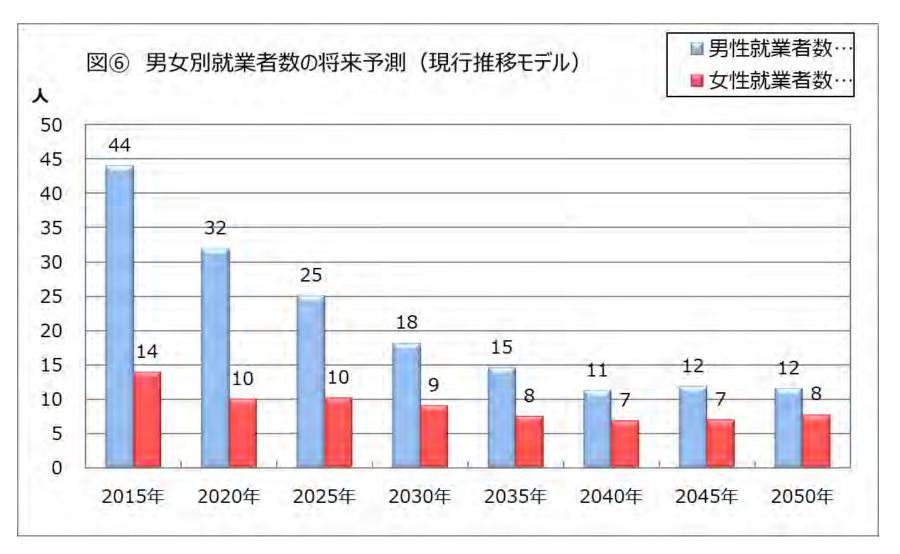
30代、40代、60代において、新規就農あり。80代からは、農業からの大量引退が進行。

(2) 将来予測 ①現状推移シナリオ



基幹的農業従事者は緩やかに減少し、20人弱で安定へ 高齢化率は徐々に低下していく。

②男女別農業就業者数の将来予測(現状推移モデル)



男性は緩やかに減少し、10人強で安定へ。 女性はほぼ安定し、10人弱で安定へ。

(4)組み合わせ安定化シナリオ

達成目標:30年後(2050年時点において)、農業就業者数 が現在の9割以上。

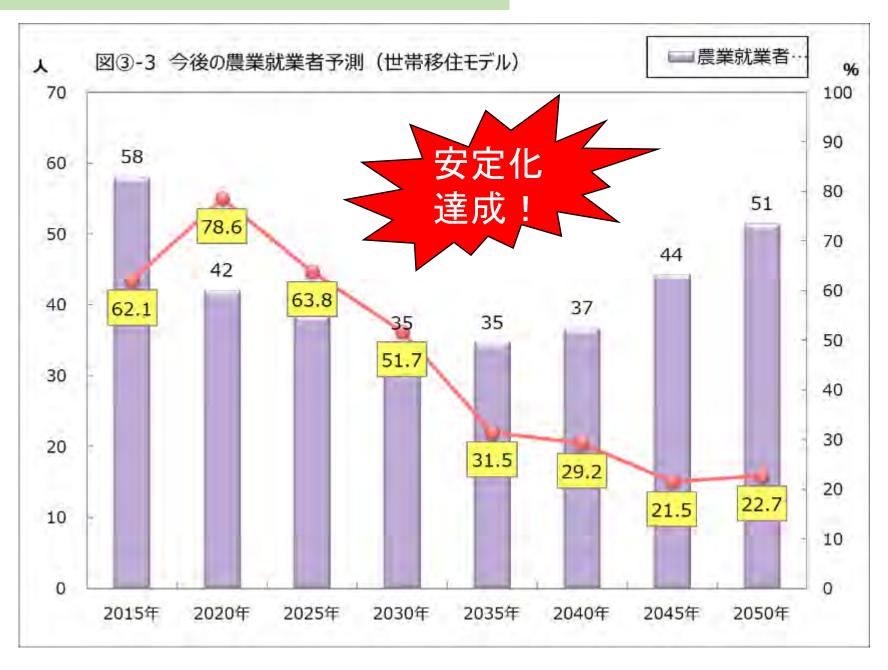
前提条件

- ●15~19歳世代の就農比率: 20歳以上の就農者のほぼ0%分とする
- ●就農増加組数: 10年に1名のペース 毎年各年代男女O. 1人=現在の従事者の1. 4 % (72人に1人)

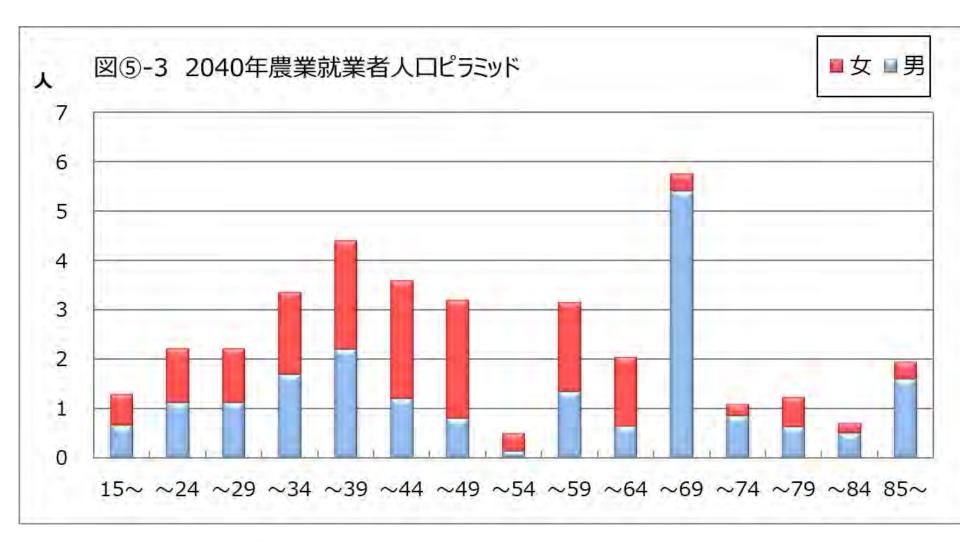
地区合計 0.6人

→現行に加えて、およそ<u>2年に1名の就農増加</u>が目標!

①今後の就農者・高齢化率予測



②2040年の農業就業人口の年齢構成

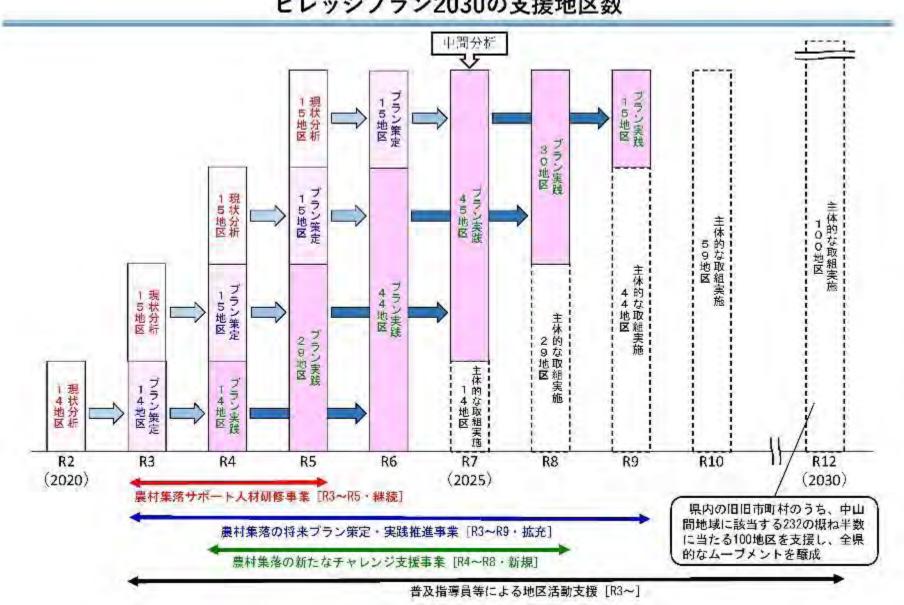


全体として、バランスのとれた年齢構成となる。 (ただし、60代後半以降は、男性に偏った人数校正となる)

他の県ではどんな取り組みが始まっているか?

「新潟県ビレッジプラン2030」~10年継続の地域づくりリーグ

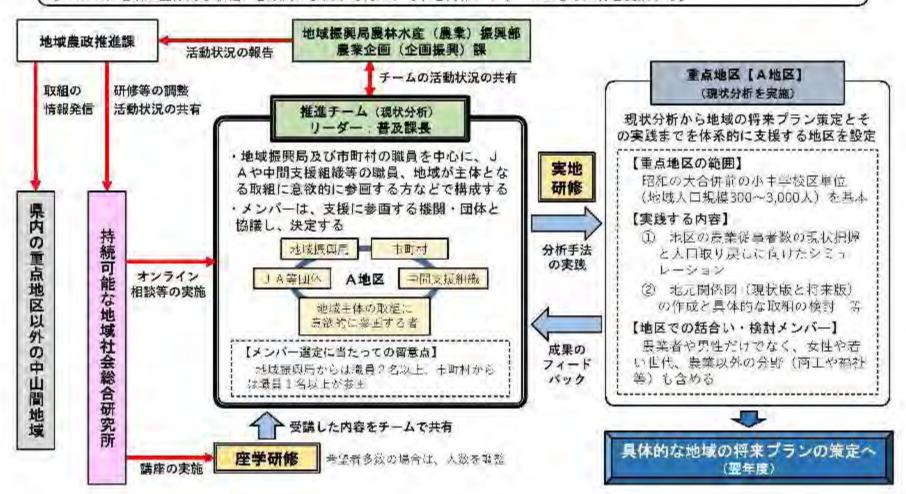
ビレッジプラン2030の支援地区数



1年目は、しっかりした就農・地域構造の診断を基に話し合いを促進

【事業スキーム】農村集落サポート人材研修事業

10年後も持続可能な農業・農村を実現するため、営農の継続や集落機能の維持に向けた地域の将来プランの策定や活動組織づくりなどに取り組みたい地区や必要と考えられる地区を市町村等と協議のうえ設定し、現状分析等の手法を地区での実践を交えて研修することで、地域の主体的な取組に意欲的に参画する方や、それを的確にサポートできる人材を養成する。

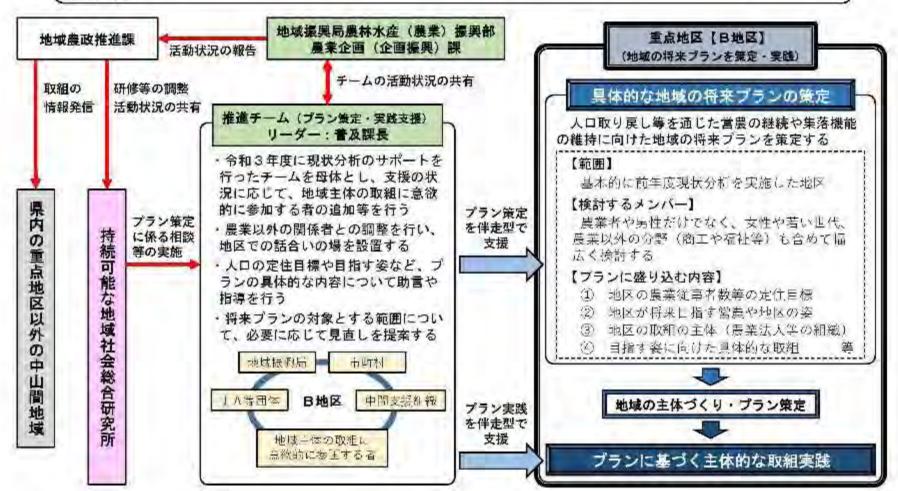


地元住民・JA・市町村・県等による推進チーム+チーム同士の学び合いの相乗効果

2年目は、1年目の診断と話し合いを基に具体的な将来プランを策定

【事業スキーム】農村集落の将来プラン策定・実践推進事業

農業従事者数のシミュレーションや地元関係図の作成を行った地区において、前年度の分析結果を生かし、地域の将来プラン 〈概ね10年後を基本〉の策定やその実践、活動のエンジンとなる農業法人等の組織づくりなどの中長期的な取組を、伴走型で 支援する。



農業分野だけに留まらず、地域ぐるみで定住を支える仕組みづくりがねらい。

3年目以降、実践段階の地区には、チャレンジ支援事業を準備

【事業スキーム】農村集落の新たなチャレンジ支援事業

ビレッジプラン実践事業の重点地区が策定した将来プランの実現に向けて、これまで実施してこなかった取組等に新たに着手するなど、計画した活動の本格的な実践に先立って行う準備や試行的な取組を支援し、地区の農業者や住民等が小さな成功体験を経験・ 共有することで、その後の農業者等が主体となった具体的な取組につなげる。

事業スキーム

1 目的

人口の取り戻し等を通じた営農の継続や集落機能の維持に向けた将来 プランの実現のため、本格的な実施に先立って、地域が行う準備や試行 的な取組を支援する。

2 事業主体

将来プラン策定地区内の農業者等が組織する団体

3 内容

策定したプランに位置づけた営農の継続や集落機能の維持に向けた取 組の準備・試行を支援する

- (1) 地域の活動主体となる組織(農業法入等)づくり
- (2) 地域で新たに農業に従事する者などの所得機会の確保
- (3) 農業従事者等の確保・定着に向けた仕組みづくり
- (4) その他営農の継続や集落機能の維持に向けた取組
- 4 補助率 定額 1年日:上限500千円/地区

2年目: 上限250千円/地区

プラン実践支援の1、2年日 (ピレッジプランでの支援 3、4年日)を対象に支援

- 5 事業費 7,000千円 (14地区×500千円)
- 6 事業対象地区

地域において人口の取り戻し等を通じた営農の継続や集落機能の維持 に向けた将来プランを策定していることを要件とする。

7 その他

1地区が申請できる作数は1件とし、最長2か年の事業申請を可能と する。

想定される事業主体

- 複数の町内会や農家組合で組織する団体
- ・中山間地域等直接支払制度の広域協定や複数の 集落協定で組織する団体
- ・複数集落にまたがり営農等を行う農業法人
- ・地域の各種協議会

など

支援する取組のイメージ



地域の学生と連振した新たな 所得確保につながる地域の裁 培品日の調査・整理



地域の農産物を利用した加工 品試作や、地域に移住した方 も携われる体制の検討



農家民宿や空き家を活用した 定住希望者のお試し移住



地域の窓(集いの場)となる 月一朝食会の試行

新たな取り組みの試行を後押し、その成果と課題を地区内で共有していく。

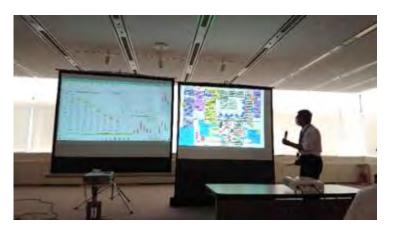
農村集落サポート人材研修事業連続講座(全3回、15チーム100人)





1回目~藤山講義、人口分析•地元関係図習得





2回目~地元と取り組んだ就農目標・地元関係図の共有

現地支援~直接現地に出向き、視察&話し合い支援&展開提案



上越市清里地区検討会



小千谷市真人里地地区の農地視察





胎内市鼓岡・大長谷地区「里の駅 いちべえ」と現地検討会

事例:十日町市川手地区将来プランーや地域が目指す姿と就農・定住目標~

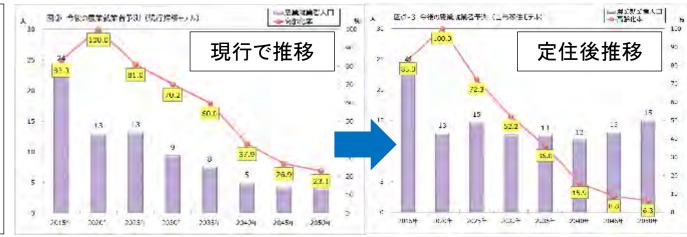
- 〇 地域が目指す10年後の姿
 - 1 集落の農業・農地を維持していける
 - 2 住民が集落の暮らしや農業を楽しみ、 集落外の人に魅力を伝えていける
 - 3 地区のファンが多くいて、 離れていても関わり合いをもっていける

現在の状況 人口161人

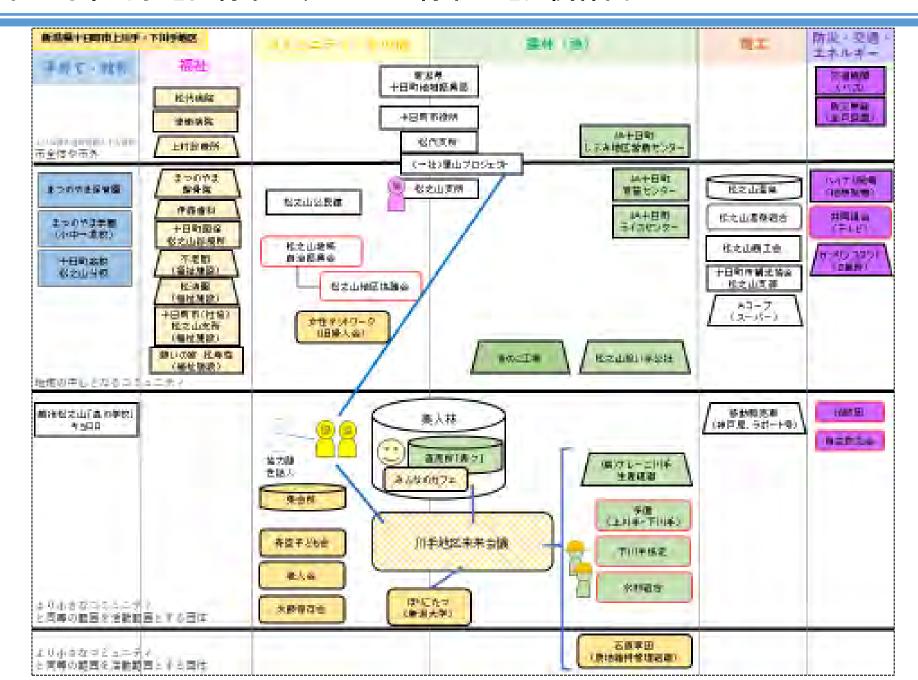
高齡化率56.5%

基幹的農業従事者 13人 (2020年データ)

- 基幹的農業従事者の定住目標
 - -30代前半夫婦 0.15組/年 2032年までに 3人確保



十日町市川手地区将来プラン ~ 将来の地元関係図 ~



十日町市川手地区将来プラン ~ 重点的に取り組む内容 ~

1 農業の仕組みづくり

- ①新規就農者の受入、定着に向けた体制整備
- ②持続可能な農業基盤の整備 (取組主体:(農)ナレーニ川手、担い手農業者)

2 定住につながる仕組みづくり

- ③地域おこし協力隊の募集、定着 (取組主体:協力隊世話人)
- ④集落の魅力創出、発信 (取組主体:川手地区未来会議)

3 交流の場づくり

- ⑤観光名所「美人林」直売所の活性化 (取組主体:直売所「森々」)
- ⑥女性の交流・活躍の場づくり(取組主体:女性グループ)

十日町市川手地区将来プラン ~ 取組スケジュール ~

子 L The 40	具体的な取組内容			
重点取組	短期的(1~3年)	中期的(3~5年)		
①新規就農者の受入、 定着に向けた体制整備	・農業研修生の募集・受入 ・雇用創出に向けた検討	・独立就農または法人就業支援 ・経営力向上支援(研修への派遣等)		
②持続可能な 農業基盤の整備	・条件不良ほ場のゾーニング・水稲収益安定化に向けた勉強会の開催・雇用創出に向けた検討	・ほ場・水路・農道の整備 ・雇用創出、拡大 ・直売所との連携		
③地域おこし協力隊の 募集、定着	・地域おこし協力隊の募集・空き家の確保、整備・	・就職活動支援 ・地域おこし協力隊の募集 ・空き家の確保、整備		
④集落の魅力創出、発信	・大学生とのワークショップ開催 ・交流体験メニューの検討、実施 ・川手地区未来会議の開催	・PR活動 継続、未来会議で随時見直し		
⑤観光名所「美人林」 直売所の活性化	・運営組織の再編・新規出品者の確保・新商品(品目)の導入検討・栽培技術向上のための研修会開催	・直売所の改築に向けた検討 (仕組みづくり等)・新規出品者の確保		
⑥女性の交流・活躍の 場づくり	・女性の交流・活躍の場づくりに 向けた検討	・交流会の立ち上げ ・地域貢献活動の検討		

十日町市川手地区将来プラン ~ 地域の変化と今後の課題 ~

- 〇 重点地区に見られた変化
 - 住民の問題意識が醸成され、活発な話し合いが行われた。
 - 集落外からの若者確保が共通目標として認識された。
 - ・地域起こし協力隊等の外部人材の募集活動に繋がった。
 - 地域資源を活用した取り組み内容について、様々な意見が 出された。
- 〇 これからの課題

活動を推進する実働組織の設立

十日町市川手地区将来プラン ~ 地域のPR・求人チラシ(想定) ~

川手地区で楽しい暮らしと農業を!

【地区での暮らしのイメージ(30代の子ども連れご家族)】

●当面の仕事

お父さん:農事組合法人ナレー二川手に就業できます(農作業全般、経理事務に従事)。

※会社に勤めながら、土日のみ農作業を行うことも可能です。

※個人経営も大歓迎です。農地や機械の取得についても支援致します。

お母さん:集落近辺の温泉施設や福祉施設、きのこ工場等に勤務できます。

お子さん:集落近辺のまつのやま学園(小中一貫)又はまつのやま保育園に通学できます。

●住居

地区内に数件の空き家がございます。見学もできます。

●地区の観光資源

- 美しいブナ林で有名な「美人林」
- 森の学校「キョロロ」

●移住を希望される方へ

・地区の暮らしや農業の維持に向けて、定期的に集会を行っています。みんなで楽しくアイデアを出し合い、一緒に地区を盛り上げていきましょう!



「地元関係図」で地域社会の生態系を診断、設計

なぜ、地元関係図をつくるのか?

特定分野の就業対策だけでは

定住実現は、地域の総力戦

結局、就業も定住も 実現できない!



コミュニティに溶け込めない 住宅がない、子育て支援が 不安、女性の居場所がない

> 定住を実現する上で、地区 の強み、弱み、連携不足は どこ?

地元関係図で地区全体の仕組み診断する。



地区ぐるみで定住を受け入れる体制づくり 就業対策連動

地元関係図の作成から活用へのフロ

ワークショップでの実施も可

4パワポで完成





県担当者



市町村 担当者





地元

事前調査シ

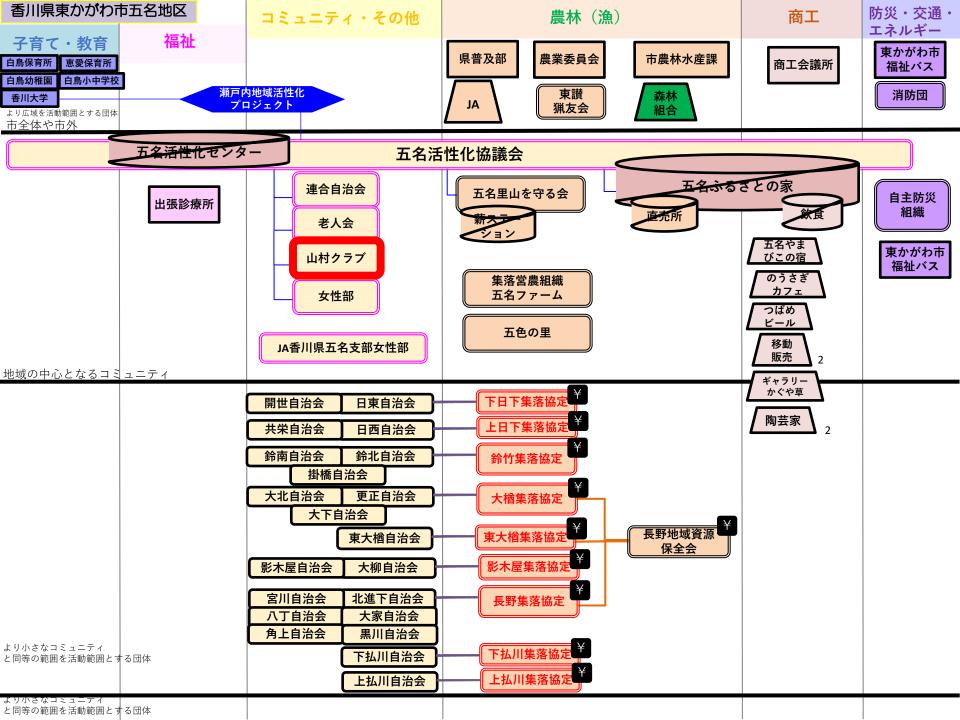


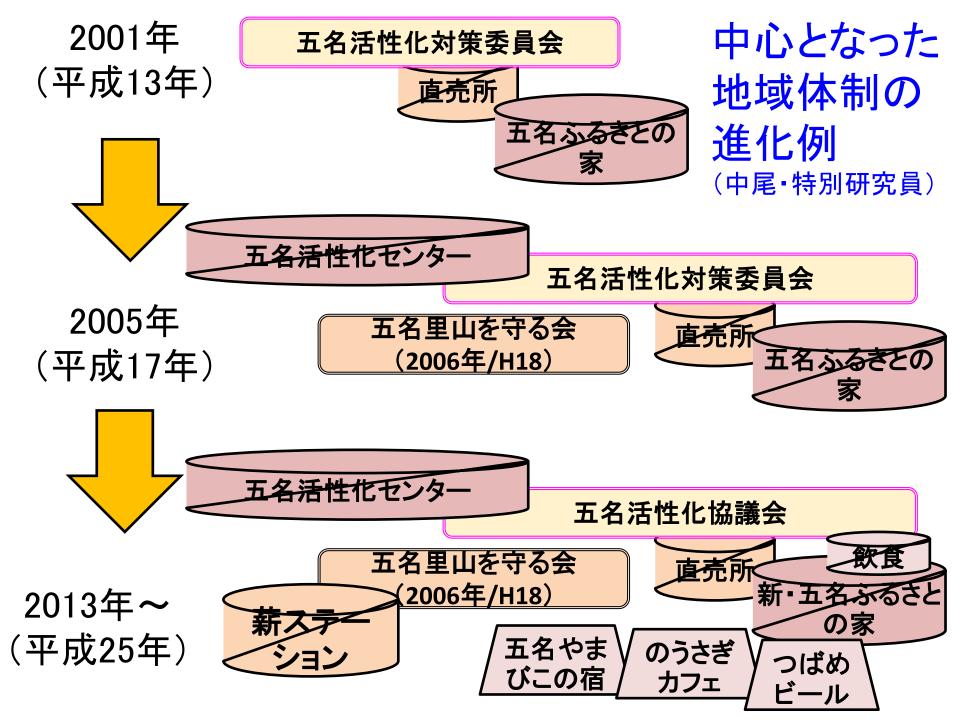
地区で確認











見えてきた元気なコミュニティをつくる10か条(藤山)

口生熊系 ~ 地域全体としての多角形のつながり ~ みんなが集まり、話す場や機会 口集い □連結 ~ 地域全体をつなぐ組織や人材、拠点 □連関 ~ 生産だけでなく、加工・販売も連動 ~ 女性が活躍するポジションがある □後見人 ~ 移住者や若者を支えるベテラン住民 □法人 ~ 機動的に動く会社・事業組織が存在 口楽しみ ~ 暮らしを豊かにするアートやサークル □窓 ~ 閉鎖的でなく、外との交流の窓口がある □情報 ~ 地域内外への情報発信・共有のしくみ 2050年までに循環型社会へ転換

+長期展望 ~10年続ける覚悟と大きく変わる時代

邑南町出羽地区の取り組み

・コミュニティ× 農業=地域発展

- 地域自治組織の立ち上げ(12集落→「出羽自治会」)
- * 総務部、生活部、交流部、産業部の設置



将来像の共有

●「出羽夢づくりプラン」の作成



1,764万円

●直接支払い11協定の大合併

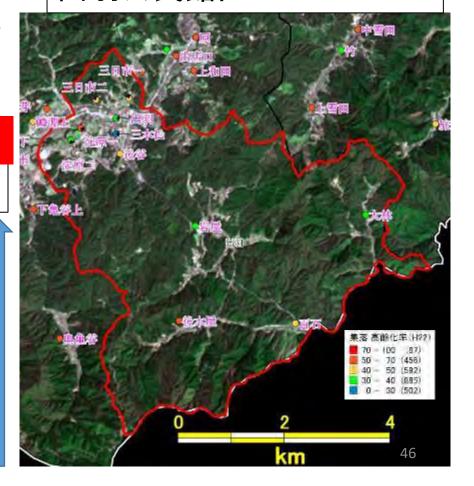


会計事務

●人材バン ク(お助け 隊)設立 地域マ ネージャー 雇用

●耕作放棄地2ha再生

人口913人、高齡化率37.8% 集落数 12 (2010年) 出羽公民館区



出羽自治会

三治会 =出羽公民館エリア連携 合同会社 出羽

事務局

 総
 生
 交
 産

 務
 活
 流
 業

 部
 部
 部

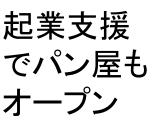
く集落>

自治会の機能だけでは難しい、収益 事業、空き家対策、産業等について、 機動的に対応できる実働部隊として 2013年に設立。資本金539万円 出 資社員17名(設立時6万円、6名)

農業部門 農地集積32ha 放棄地活用 新規就農支援 定住部門 空き家活用 (修繕、賃貸) 起業支援

パン屋も出来た。 定住の窓口機能も併設 にずわ交流広場

* 今年、 2代目 就任



宮崎県美郷町+持続地域総研で展開中

■7月29~31日

■事前実施 行政区の人口予測

行政区ごとの地域活動ヒアリング&現地視察

合計3時間程度、定住状況や主な組織・団体・活動の現状につ いてお聞きすると共に、地域内をご案内いただきます。

●お願いしたいこと

地区ごとに、地域内の主 な組織・団体・活動の現 状についてお詳しい方、 2~3名でのご対応をお 願いします。また、現地 内のご案内にも同行くだ さい。



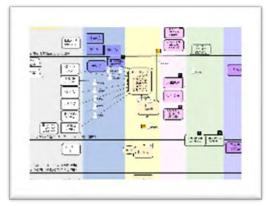
■8月中

地元関係図の作成

行政区内の主な組織・団体・活動・事業について、相互の関係 や人、お金の流れ等を、一緒にまとめ、今後の地域ぐるみの定 住や子育で、福祉などの事業展開に役立てて行きます。

●お願いしたいこと

地域全体の動き、関係 性の概要をご存じの方、 主な事業組織につい て仕事の内容につい てご存じの方と、電話 やメールでやりとりして 仕上げていきます。



■10月中旬以降

3年間で全24行政区 で地区別戦略策定

行政区ごとの定住促進検討会「地元天気図」

各行政区で年代別の増減の背景を考え、定住を増やす上で の強みと弱みを検討し、今後の定住促進の方向を考えます。

お願いしたいこと

各地区で若手(20代 ~子育て世代)とベテ ラン(50代~70代)の 各4~6人、2グルー プでお集りいただき、 話し合っていただきま す。



■11月以降

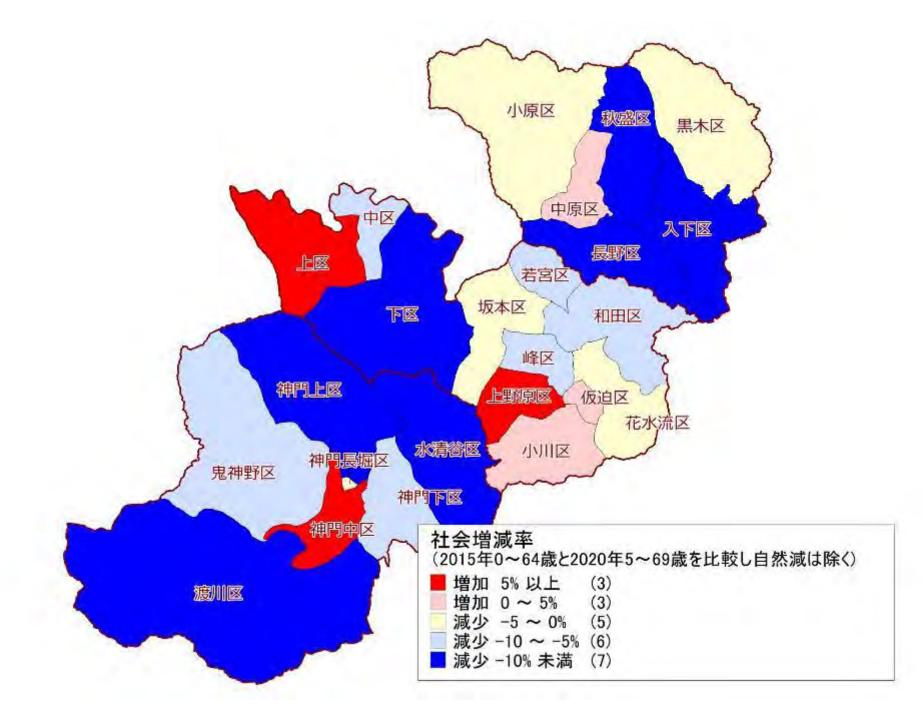
行政区ごとの報告会

本年度の予測や分析、検討成果を報告し、地区全体で共有し、 今後の取り組みにつなげて行きます。

●お願いしたいこと

できるだけ幅広い 住民の方に参加で きる内容、時期、日 時、場所を設定した いと考えています。

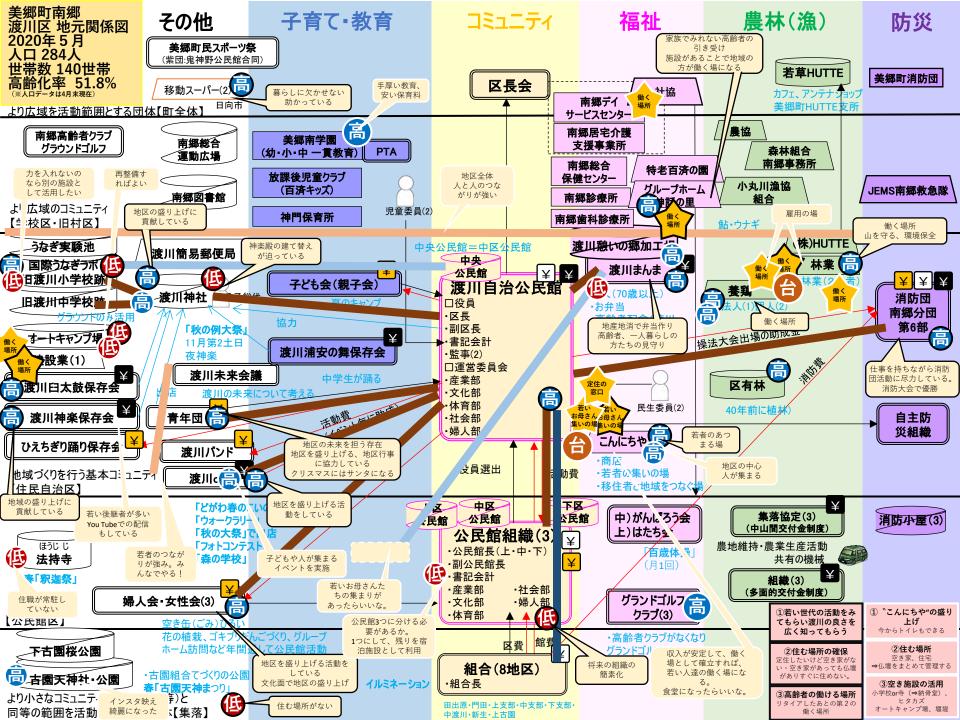












美郷町における地区別戦略の広報パンフレット(年度末版)

地区別定住戦略 地区別定住戦略 かわら版

~13 地区で戦略まとまる!~

美郷町では、昨年度から、地区ごとの人口分析を基に、地域の特色、課題、可能性を踏まえた具体的な定住増加の戦略づくりを行う「美郷町地区別定住 戦略」事業=「ちくせん」が始まっています。今年度は、15 行政区が「未来 会議」を継続的開催し、来年度始動する戦略がまとまってきています。

小原区、中原区

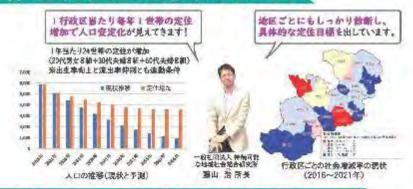
※神門中区と仮追区は、R4年度も辘籠して計画策定に取り組みます。

地区名

今和2(2020)年度 神門中区、鬼神野区

峰区、和田区 長野区、入下区 合和((2021)年度 水清谷区、流川区 上野原医、小川区、仮迫区 花水流区、若宮区 专和4(2022) 年度 神門下区、神門長城区、神門上区 城本区、下区、中区、上区 秋盛区、無木区

★ 町全体&各地区の人口診断からスタート!



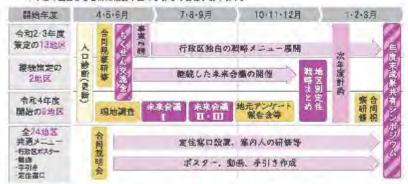
★ 令和2年度~令和3年度の地区別戦略の取り組み

開始年度	4	和2年度		4-5-6月	7.8.9月	10-11-1	2月	1.2.3月
合和2年度 開始の 6歳区	人口	類地調查 未来会議 [均区別報告会	人口於你		*	未会婚 ·W	地元アン	地 区 別 戦
合和3年度 開始の 9地区	修新		町(更新)	現地恢復	未來合議	林倉庫	ケート等	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

★ 令和4年度の「ちくせん」の流れ(案)

来年度の「ちくせん」は、いよいよ実践活動に入ります。また、さらに 9 地区で地 区別定住戦略を策定していきます。

本今後の協会等を含めた検討や国の予算等で変更があります。

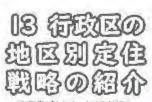


★「ちくせん」の特色~5つの花びらで咲かせよう!

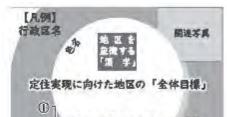
「ちくせん」が実りあるものとするために、5つの「花びら」でみんなの力を活かし、 毎ねていきます



地区別に代表する色&漢字、全体目標、3本柱を決めてスタート



今年度でまとまった 13 地区の 「ちくせん」の概要を紹介します!



定住を実現するための3 本柱

水清谷



みんな!! 水清谷で暮らそう!

- ① つどいの場
- ② 定住の場 (空き家の活用)
- ③ 働く場(働き手の確保・定住者の傷(場)

鬼神野



永遠 ((とわ)) に輝く大鬼神野魂♪

- ① 活动特引旗短视
- ② 作名引展用の場
- ③ 広げ生引度神野の輪!和!話!

渡川



- D CHARGE OF THE
- ② * 名从后生中 同型页光囊
- ③ 移住後の分部=15の充実

争

(3)



峰区だよ!全員集合!

- ① 空き家・空地対策(空き家相談員)
- ② 子育て支援
- ③ 田代小跡地の活用

上野原



上野原独立宣言

- (I) (III)
- ② デジタル発信
- ③ 全质生源现积

小川



- つなげよう 小川の輪
- ① 自分楽しむイベント交流
- ② 老者男女 全部まとめて暮らしサポート
- ③ 定住促進

花水流



みんなで咲かせる 明るく 住みよい地域

① 僧親 SNS で知ってもらう

みんなが集い互いに支え合う元気な中原

- ② 人と人との交流
- ③ 核となる新しい単金センターの活用

和田



笑顔いっぱいの帰ってきたくなる和田

- ① 地域の魅力発信
- ② スポーツ交流で地域振興
- ③ 長寿 No.1 (元気な高齢者)

若宫



若宮 "キラキラ" 大作戦!!

- ① 若宮情報局
- ② 残そう機関原
- ③ 目指そう空家ゼロ!

小原



めざせ人口300人

- ① 住居の確保
- ② 魅力ある機場
- ③ 自然と生きる

中原



TX.



みんな集まれ長野の杜

- ① 蚰蜒の葉いの場をつくる
- ② 楽しく集い地域カ UP!!
- ③ 農林菓サポート・雇用創出

人下



いい人下を子どもに伝えよう!

- (1) 定住環境を整える
- ② 集える場所をつくろう!
- ③ 地域の担い手を育てよう!

ちくせん はじまる

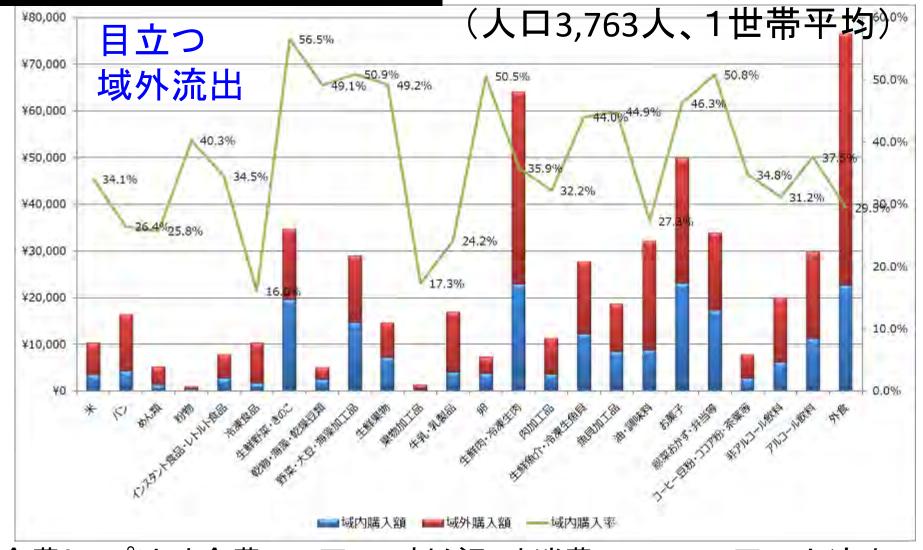
発 行: 美郷町役場 企画情報課 酬会社: 66~3603

② メインストリートの整備③ 定住促進部発足!

① 憩いの場をつくるう!

4. 所得の1%取り戻す

宮崎県五ヶ瀬町家計調査より



食費トップは外食費8万円~7割が町外消費=5,000万円以上流出2位は生鮮肉6万円~3割強町内、3位はお菓子5万円~5割町内町内購入率トップは、56.5%の生鮮野菜

2. LM3(地域内乗数3)理論に基づいた(産業連関表が無くてもOK!) 消費・流通・生産の3段階を通じた域内経済循環の把握

ステージ 設定	ステ ー ジ1 消費	ステージ2 流通	ステージ3 生産	ステージ4 投入財生産	
地域外	域外消費者 域外事業体	域外事業者	域外生産者	域外投入財生 産者	
地域内	家計消費 購入①	スーパー 直売所 JA,GSなど	農家 林家 おど	、 農林業機械 燃料、肥料、農 薬、種子など	
域内所得	事業体域内賃金	流通事業者域内賃 金①	生産者域内 賃金②	投入財生産者 域内賃金③	
事業体経由 パターン LM3計算 (LM4)	R1 = 家計購入 額=事業体売上 額(予算額)	R2 = 域内調達 額①+事業体域内 賃金①	R3 = 流通事業 者域内調達額② +流通事業者域 内賃金①	R4 = 生産者 域内調達額③ +生産者域内 賃金②	
地域内乗数6 基本算定式 R1 / R1+ R3	費者•事	R1 = 流通事業 者売上額①	R2 = 流通事業 者域内調達額② +流通事業者域 内賃金①	R3 = 生産者 域内賃金② +生産者域内 調達額③	

*域内仕入れと地元産品利用の比較例

居酒屋部門

同じような売上げ規模の居酒屋同士で比較しても、地元仕入れや地元産品利用の違いで、地域全体としては、域内所得の創出に大きな違いがあることがわかります。

地元密着タイプ

居酒屋A

LM3值2.23

飲食費1,000円当たり112円所得創出

売上げ 5,430万円



地元 仕入額 2,650万円

魚1,840万円 酒450万円 野菜190万円



地元産品購入額 930万円 生産所得290万円



資材販売所得 30万円

居酒屋B

LM3值1.00

飲食費1,000円当たり0円所得創出

国 チェー 売上げ 5,200万円



地元仕入額 O円

*全国的なデータからは 地元仕入れがほとんどない 場合が多い。



応用分析①~地元でパンを作る意味

同じ2,000万円の売り上げのパン屋があったとしても

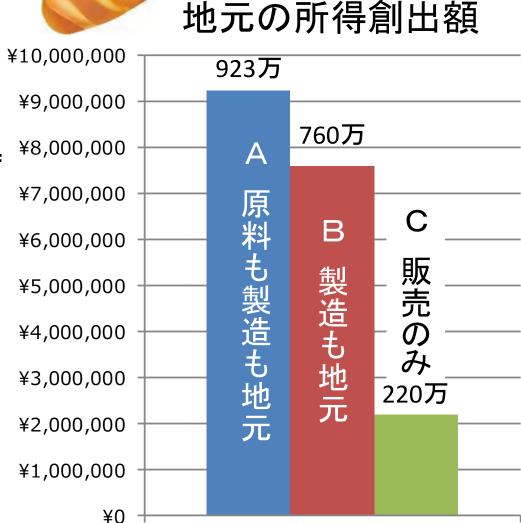
「LM3」手法で生産段階 まで追跡すると、地元所得 創出額は大きく違う!

1個100円の域外のパン地元所得創出額 11円

50円の 58円の 価格差以上! 所得差

58円の 所得差

1個150円の完全地元パン 地元所得創出額 69円



*福井県池田町の取引状況データ(店舗、農家等)を基に試算。従業員はすべて地元雇用。

*傑キヌヤ本社=島根県益田市、島根県・山口県に21店舗

(株)キヌヤの 地産地消率

時点割合

2010年 10.1%

2017年 16.4%

6割アップ



年商全体133億円 地元産商品販売額22億円 LBクラブ(ローカルブランド) に600以上の事業者が参加

*安心でおいしい、地域の個性ある暮らし

19億円

応用分析②~野菜を買うなら産直市

同じ2,000万円分の 生鮮野菜を買ったとしても

「LM3」手法で生産段階 まで追跡すると、地元所得 創出額は大きく違う!

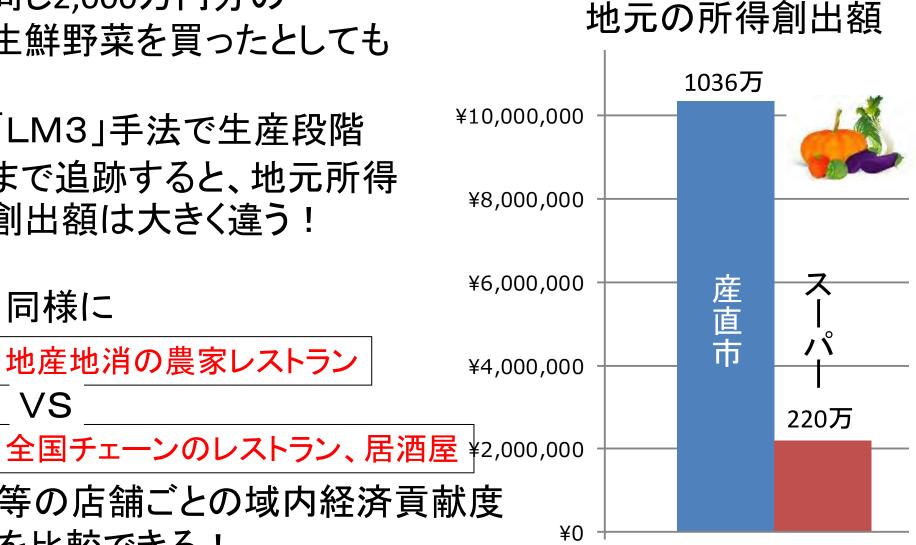


地産地消の農家レストラン

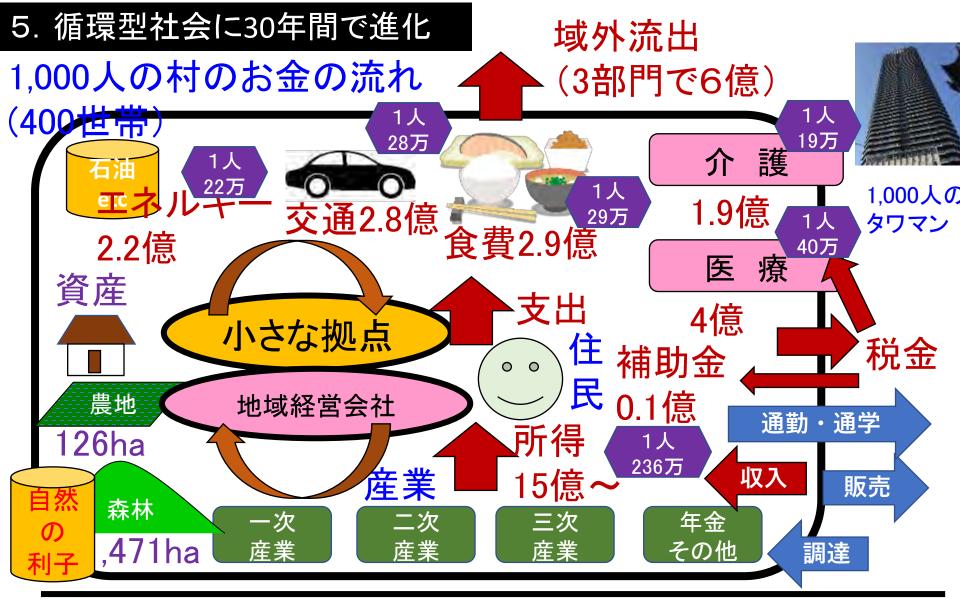
VS

等の店舗ごとの域内経済貢献度

を比較できる!

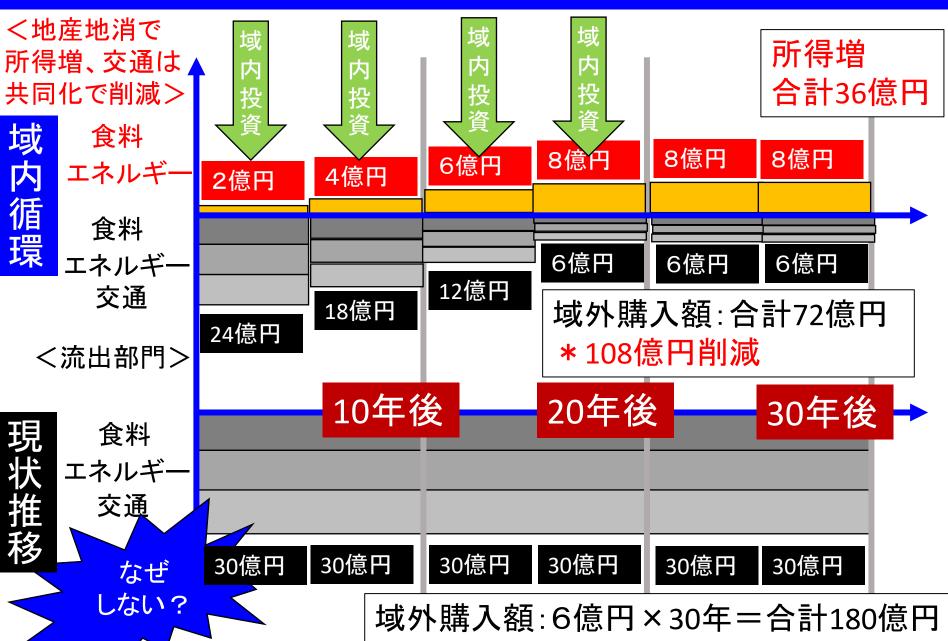


*福井県池田町の取引状況データ(店舗、農家等)を基に試算。従業員はすべて地元雇用。



①所得:島根県民平均所得:236万円(2012年、「県民経済計算」島根県)、②補助金:島根県A市における20地区への支払い額から、③食費:2016年島根県邑南町瑞穂地区データより、④交通費:島根県中山間地域世帯(年収400~500万円)平均値57,529円より、⑤エネルギー支払い額:邑南町計算データより、⑥医療費:2017年度国民健康保険データより、⑦介護費:2018年度邑南町データより ⑧農地面積:2010年度の全国中山間地域における1人当たり平均面積から算出、⑨森林面積:2010年度の全国中山間地域における1人当たり平均面積から算出

未来につなぐ~長い目で域内循環への転換が確実に得策



*1,000人規模の地域を想定

●なぜ基本単位=「循環自治区」の設定が不可欠か?

循環自治区

定住循環圏

三次循環圏

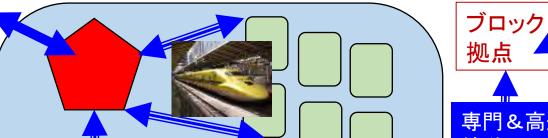
- ①基本生態圏:生存の土台となる生態系のローカル性
- ②基本生活圏:日々の暮らしの舞台のローカル性
- ③総合需給圏:自然、社会、経済、暮らしの包括的バランス
- ④長期投資圏: 世代を超える共同投資の合意形成可能範囲
- ⑤基本診断圏:環境負荷・脱炭素を計測するカルテ作成
- →域内のミクロデータ総括と域際収支の把握、相互比較

る情報統

合

自動運転・新車両

エネルギー供給



定住 ハブ拠点 地方 循 都市圏 環 巻

次

循環

巻

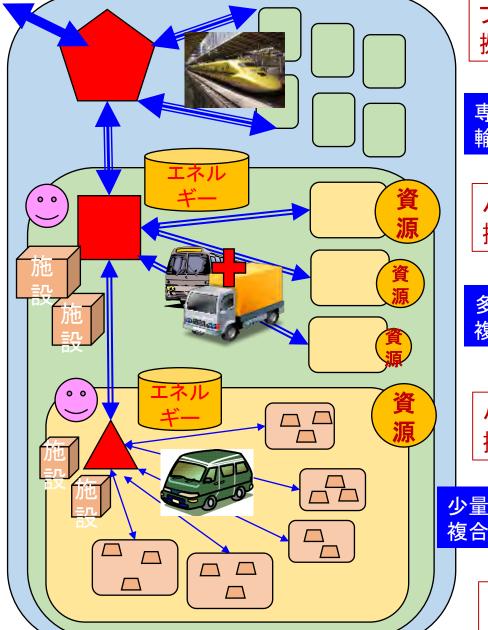
地方ブロッ

ロッ

ク

拠点

循環 小さな拠点 自治区 次生活圏



適正な配置 と供給網

専門&高速 輸送

高速道路& 鉄道結合で スマートな新 「軌道化」

ハブ 拠点

専門大量輸送と 複合少量輸送の スマートな結節機能

多分野 複合輸送

小さな 拠点

分野横断マネジメント統

少量多品種 複合輸送

> 集落 世帯

情報ネットワーク

決済システム

施設の集約度 (ワンストップ性)

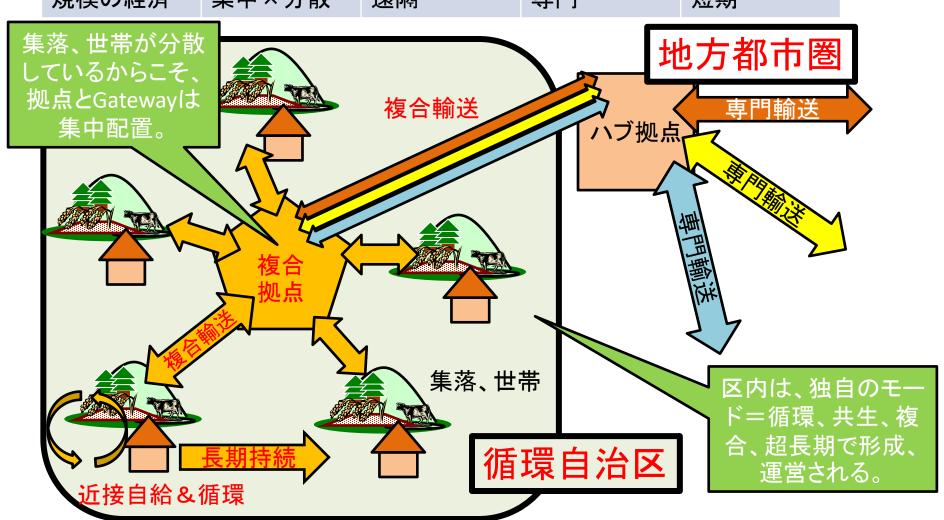
小さな住民力結合

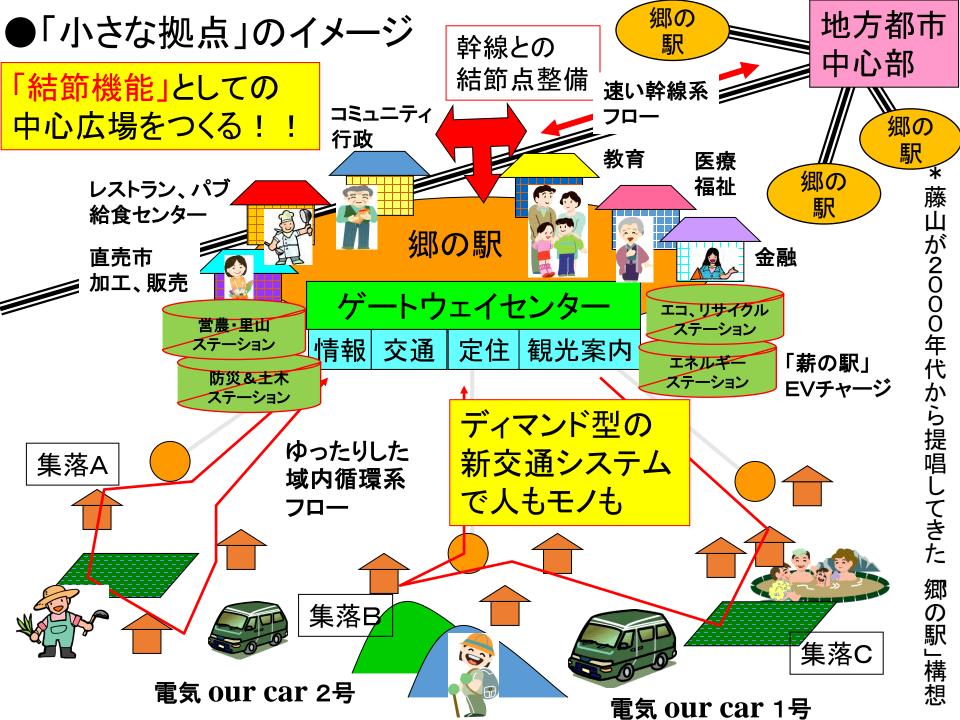
貨物輸送ベクトル (量・頻度・行先)

旅客輸送ベクトル (量・頻度・行先)

●「循環自治区」における地域社会設計の基本原理

3つの次元	空間		分野	時間
	配置	移動		
循環の経済	分散×集中	近接	複合	長期
規模の経済	集中×分散	遠隔	専門	短期

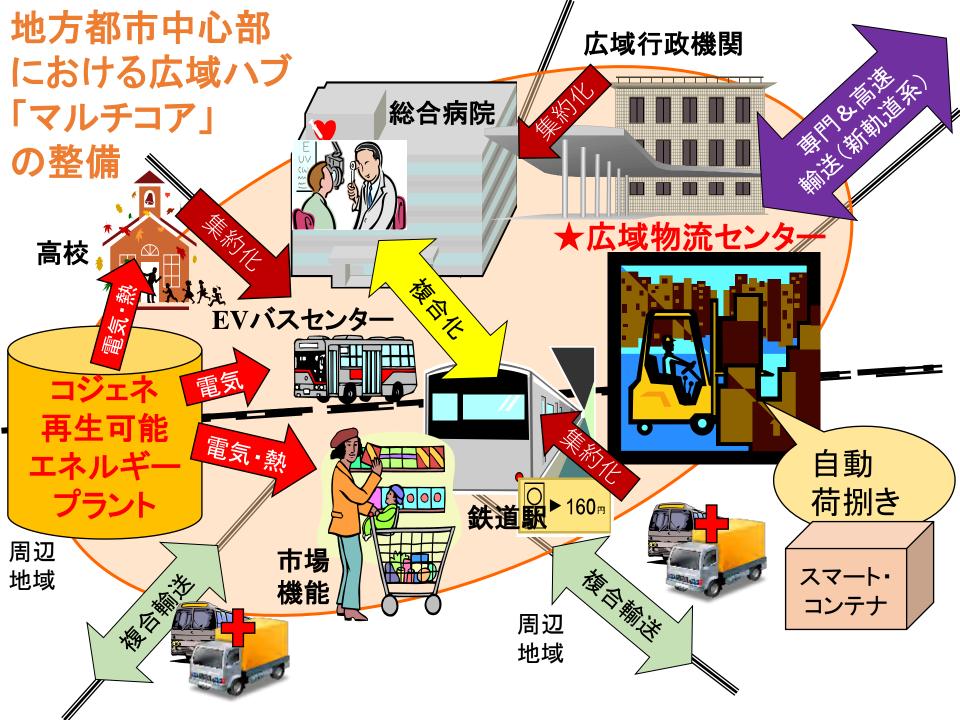




国土のグランドデザインと総合戦略にも、集落地域を支える新たな複合機能拠点として「小さな拠点」構想が登場



※実践編「小さな拠点」づくりガイドブックより



未来形の拠点・ネットワーク検討~邑南町「道の駅瑞穂」整備検討委員会資料



以下5枚、 国土交通省・(株)バイタル ドの協力により作成

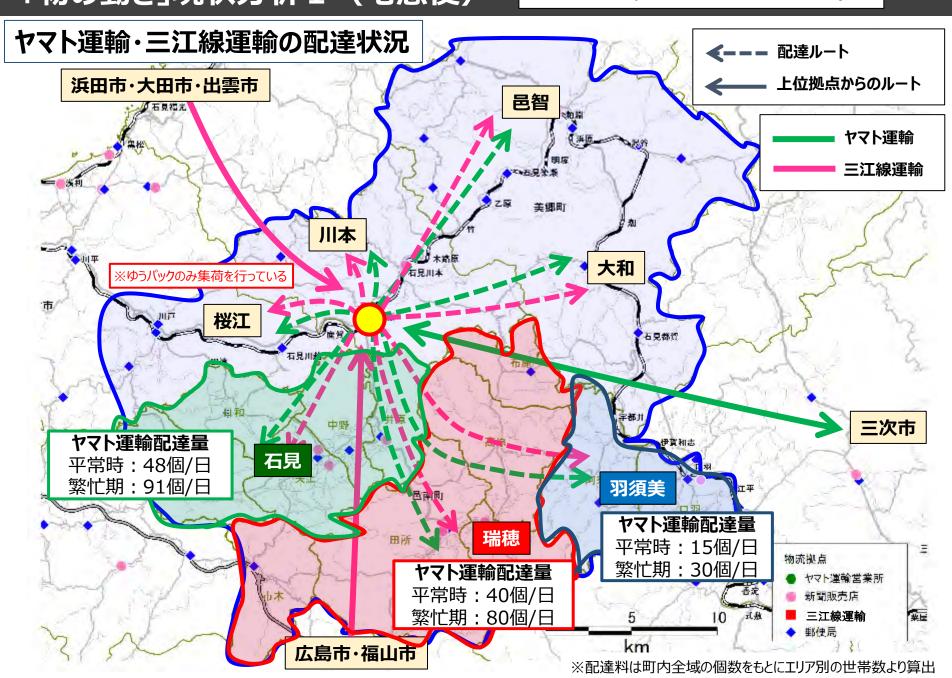
「人の動き」現状分析

(各地区の生活行動実態調査より)



「物の動き」現状分析1(宅急便)

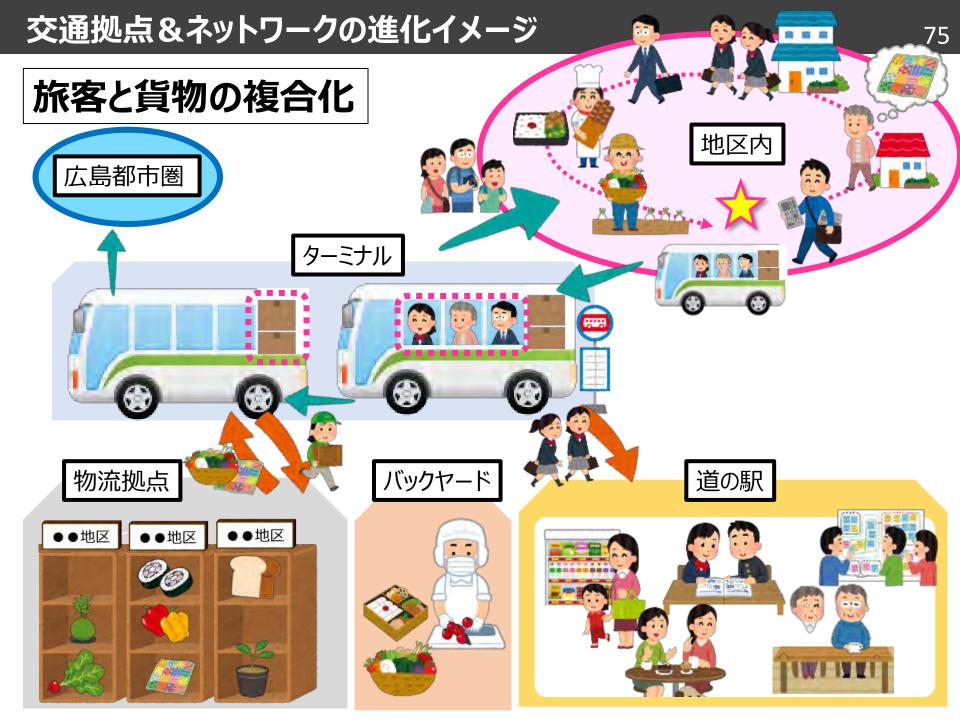
(物流事業者ヒアリング調査より)



12地区の特色を活かしたまちづくり~「小さな拠点」を核に

12地区間と町内外をつなぐ広域ネットワークとその拠点(道の駅)





先行研究「中山間地域に人々が集う脱温暖化の郷づくり」(H20~25)

①ネットワーク構造のコンセプト

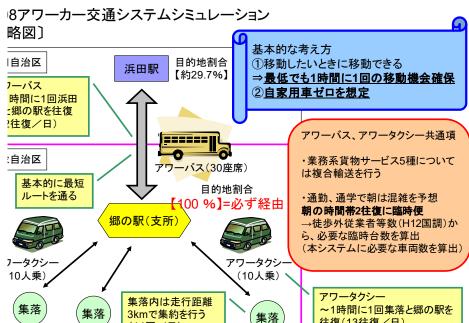
中山間地域の分散型居住に対応

地域社会の拠点・フロー・マネジメント を複合化

地元のつながりを活かす 「範囲の経済」圏の創出

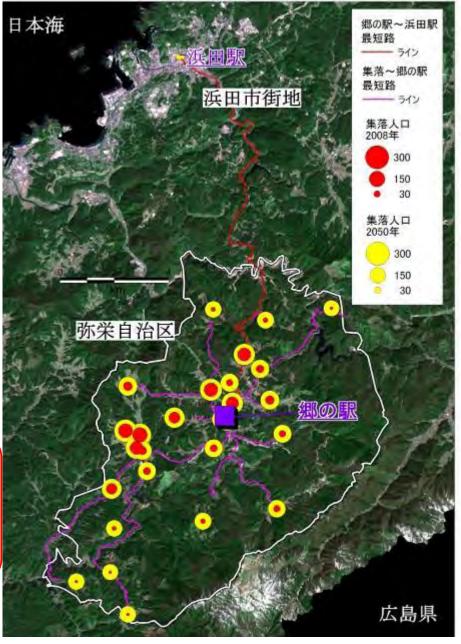
(14回/日)

②「郷の駅」+「アワーカー」 シミュレーション(2008)



往復(13往復/日)

・ 基本的に集落に1台配備



郷の駅を核とした拠点・ネットワーク構造と集落人口分布

③「郷の駅」と「アワーカー」社会的効果の試算 待ち時間の活用がカギ

年次	タイプ	必要車両台数	総走行距離	総経費(万円)	燃料消費
		(台)	(km) / 日	円)/日	(L) / 日
2008年	マイカー	1,009	18,865	130	1662
集計	+業務系車両		うち浜田往復		
未可	一大物水千凹				
			12,373		
	郷の駅	51	5,431	115	905
	+アワーカー		うち浜田往復		
		8140 体 \			
	待ち時間(1時	可怪皮)	749		
	差	△958	△13,434	△15	△757
	節減率	Δ94.9%	Δ71.2%	△11.5 %	△44.5%
2050年	マイカー	3.797	75,385	462	6,481
集計			うち浜田往復		
未可					
			47,916		
	郷の駅	95	6.923	147	1,154
	+アワーカー		うち浜田往復		
	· · · · · · ·				
	待ち時間(1時	間程度)	1,997		
	差	Δ3,702	△68,462	∆316	△5,327
	節減率	△97.5%	△90.8%	△68.3%	△82.2%
	·· • •				

燃料消費や総経費は、電気自動車化で更なる削減が可能



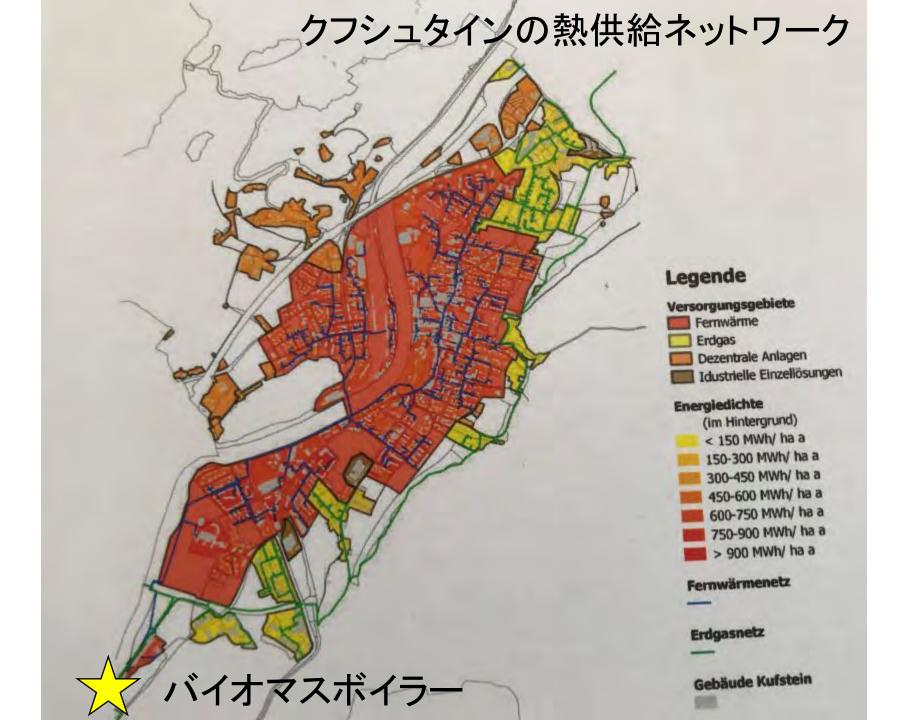
山口県初 水田での ソーラーシェアリング

山口市阿東町 「阿東つばめ農園」 おひさま発電所











循環型への地域社会の 全体最適化には 1世代・30年かかる! =かけるべき!



地域社会住民の長期的関与を促す 長期的投資(地域型年金と連動)と 地元オーナーシップ

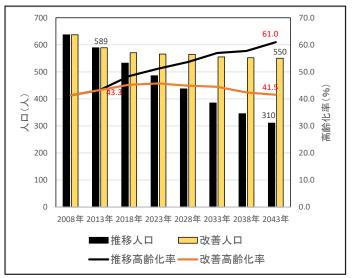
②環境資源の持続的活用サイクル

* 樹種、樹齢構成の適正化(法正林化)

230年以上必要	種別・齡級 年代	2010年	2020年	2030年	2040年	
	1齢級	517	1,000	1,000	1,000	Ī
	- 2齢級	46	1,000	1,000	1,000	Ī
	3齡級	150	1,000	1,000	1,000	Ĺ
NO.	4齢級	87	46	1,000	1,000	Ĺ
The second second	5齢級	229	150	1,000	1,000	Ī
	6齢級	227	87	46	1,000	Ī
	7齢級	149	227	150	0	L
	8齢級	217	149	87	0	L
	9齢級	819	217	198	0	L
用工程 有 企业 工程工 五	【10齢級	486	415	0	0	L
人工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	11齢級	812	0	0	0	L
The second secon	12齢級	301	0	0	0	L
《京都教教》	13齢級	325	0	0	0	L
	14齢級	308	600	0	0	L
	15齢級以上	490	1,000	1,000	1,000	L
	民有林広葉樹計	5,163	5,891	6,481	7,000	L
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	人口林·国有林	3,932	3,204	2,614	2,095	L
Company of the State of the Sta	森林面積合計	9,095	9,095	9,095	9,095	
	The second second					
	広葉樹					
	■ スギ					
7	ヒノキ					

①地域人口の安定化サイクル

*毎年1%の定住増加を30年間



③社会インフラの更新サイクル

*拠点・ネットワークの集約化

1.000 1.000

7.000 2,095



2050年に向けた循環型社会への転換工程表①~2020年代編

	転換基盤期	転換挑戦期		転換始動期
時期	2020~2022年 基盤 2022~		クト ì区中心のチャレンジ	2025~2029年 循環区普及と循環圏準備
全般的進化	持続可能な 循環圏 総合研究 プロジェクト 本養成・循環	圏配置プラン 第2陣		域600区 第4陣300圏域10,000区 デル 定住循環圏広域ハブ
インフラ =拠点・ネット ワーク(交通)	⇒各地方「緑の大学院」設立へ インフラ 構想 研究		及 loT始動 (モノのインターネット カー 自動運転 輸送	IoT普及
エネルギー =バイオマス、 水、太陽、風 +資源利用	構想研究 希 FIT制度等の見直し 再	資源調査 [21世紀の石高制] [本林等の共有財産 区制度検討 [生可能エネルギープラント・コンテスト	「木の文明」構想 森林等の共有財産 管理育成主体 循環自治区エネルギー 先行実験モデル30	資源管理 「森と農地の仕立て直し」 定住循環圏エネルギーネットワーク整備プラン 循環自治区エネルギー 普及モデル300~600
自治・地域づ くり=人材、 組織、制度	構想研究	E民エネルギー公 等の地域経営会 社設立プラン 地域マネージャー 育成体系検討	地域エネルギーファンドの運用スタート「小さな拠点」の複合的経営本格始動 「「ない」を関する。 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。」 「ないまする。	地域型年金&福祉相互支援連動システム検討 定住循環圏内「小さな拠点」 総合ネットワーク整備プラン 循環自治区運営組織 普及モデル300~600
「日本はどこで間		1.7711 71 71 71	70177000	

違えたのか」より

2050年に向けた循環型社会への転換工程表②~2030、40年代編

時期	本格転換期	転換成熟期	安定波及期
年代•重点	2030~2039年 循環圏の本格形成	2040~2049年 循環圏の普及とブロック進化	2050年~ インターローカルで相互進化
全般的進化	先行実験モデル30 &ネット 整 定住循環圏広域ハブ 定伯	&ネット整備プラン完成圏広域ハブ定住循環圏選備プラン200普及モデル200循環圏海外への移転モデル	ブロック 注モデル 海外も含めた口 がローバル 緑の大学院
インフラ =拠点・ネット ワーク(交通)	先行実験モデル30 スマー 開身 地方都市中心部 定住循環		地方ブロック インフラリンク 完成モデル
エネルギー =バイオマス、 水、太陽、風 +資源利用	定住循環圏 エネルギー 先行実験モデル30 進 アルチファエネル	地方ブロックエネル ギーリンクプラン 完成	デーリンク Eデル ジル
自治・地域づ くり=人材、 組織、制度	定住循環圏 コミュニティ相互交流 定住術 先行実験モデル30 コミュニティ 先行普及 都市・農山漁村パートナーエリア	ティ交流リンクプラン コミュニティ相互交流 完成 モデル30 定住循環圏	相互交流により

「日本はどこで間 違えたのか」より

「診断」から始まる「目標設定」と「地域同士の学び合い」こそ、進化の原動力

研究所ポリシー

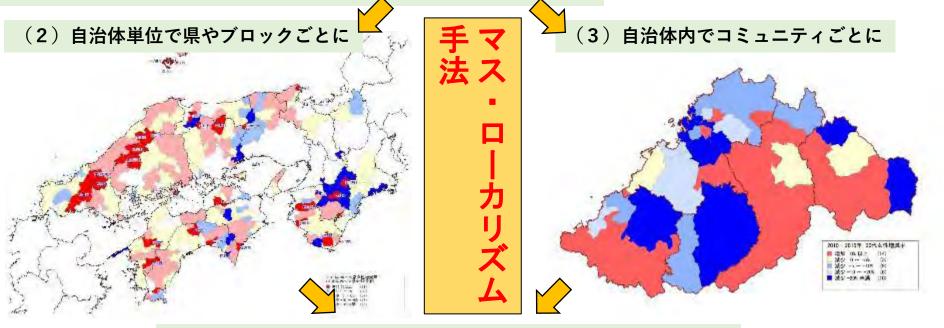
1. 今までの地域政策の欠陥

行政の本質とは、現場から始まり、 現場に還る進化サイクル

- (1) きめ細かい現状分析・予測の欠如 \rightarrow 地域現場で本当に何が起こっているか、わからないまま方針決定
- (2)行政から地域への一方通行の政策展開→地域同士の学び合いによる共進化、共通する促進・阻害要因析出
- (3)現状把握から解決への連続性の欠如→分野を横断した連結シミュレーターによる一気通貫型解決システム

2. まず、地域の現状と未来を「見える化」

(1) 例えば、どこで30代女性が増えているか、分析して地図作成。



(4) 成果を上げている(上げていない)地域に共通する要因は?

(5) 自治体・コミュニティ同士の学び合いへ **相乗効果** (6) 現場のエビデンスに基づく地域政策の形成へ

「現場で有効性を証明済みの政策で確実な進歩へ」

「自分と同じようなところはどうしてる!?!

3. 現状把握から問題解決へ~分野を横断したシミュレーター・リンクシステム

●住民基本台帳、国勢調査データ

地域人口分析・予測 シミュレーションシステム

- ●人口安定化に必要な 定住増加人数・世帯数
- →必要な所得創出額

●家計調査・事業体調査データ

地域経済循環分析・予測 シミュレーションシステム

- ●食料・エネルギーの地産地消
- ●域内循環型の観光やものづくり

●将来の男女 年齢階層別人口

●将来人口 の構成と分布

> ●将来の介護 人材の雇用

持続可能な 安定した地域社会 ●介護保険データ

地域介護分析・予測シミュレーションシステム

- ●現在ならびに将来の介護状況と費用
- ●定住増加・安定時の介護費用算出
 - ●道路、路線、拠点、世帯データ

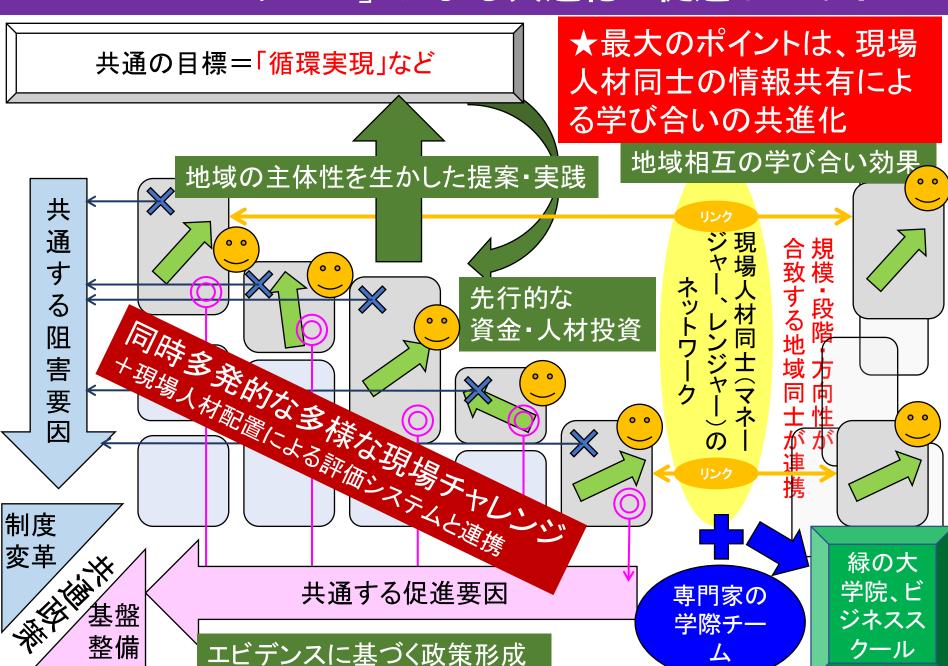
地域交通・エネルギー 次世代ネットワーク シミュレーションシステム

- ●小さな拠点、ハブ拠点
- ●旅客・貨物複合輸送

4. 持続可能な地域社会に共に進化していく重層的な地域づくりリーグ



「マス・ローカリズム」による共進化の促進がカギ!

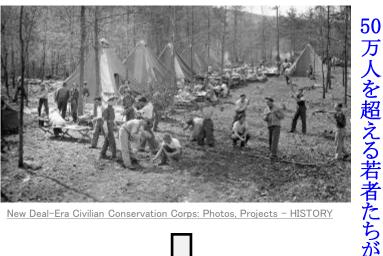


世界大恐慌期のアメリカ 「民間国土保全隊」の創設

Civilian Conservation Corps

Preserving America's Natural

Resources: 1933-1942

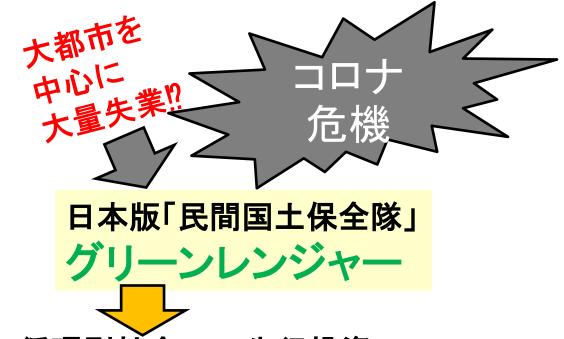


New Deal-Era Civilian Conservation Corps: Photos. Projects - HISTORY



(fineartamerica.com)

全米2,650箇所のキャンプを創り、



循環型社会への先行投資 →森林・農地保全、再生可能エネルギー 「小さな拠点」形成、生態系保護など



地域住民と環境保全に取り組み、その足跡を刻んでいる。

